

2024年1月の行事予定表

1	月	元日 元旦礼拝 (11:00)	16	火	
2	火		17	水	
3	水		18	木	祈禱会
4	木	祈禱会休み (月報印刷と発送作業)	19	金	
5	金		20	土	
6	土		21	日	三浦師 (広島教会)
7	日	新年礼拝 聖餐式 役員会	22	月	
8	月	成人の日 地区協議会	23	火	
9	火		24	水	
10	水	祈禱会	25	木	祈禱会
11	木		26	金	
12	金		27	土	
13	土		28	日	奨励 (T 姉)
14	日	奨励 (Y 兄)	29	月	
15	月		30	火	
			31	水	

1月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。(敬称略)

編集後記

- ◇ 新しい年を迎え、みなさまいかがお過ごしでしょうか？
- ◇ 去年の年末、無牧の教会として果たして今までどおりのクリスマスを迎えられるのかという思いで準備しておりましたが、素敵に主のご誕生をお祝いすることができました。皆様のご協力に感謝！
- ◇ 今号はそのクリスマス礼拝・祝会とキャンドルサービス、そしてE姉のお証しをお届けしました。
- ◇ 来年度に新しい牧師先生をお迎えする希望を持ちつつ、2024年も日々新たに歩んでいきたいと思えます。

教会月報

2024年1月
No.392

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

キリストの中で新しく生きる

従って、今や、キリスト・イエスに結ばれている者は、罪に定められることはありません。キリスト・イエスによって命をもたらす霊の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。肉の弱さのために律法がなしえなかったことを、神はしてくださったのです。つまり、罪を取り除くために御子を罪深い肉と同じ姿でこの世に送り、その肉において罪を罪として処断されたのです。～中略～ キリストがあなたがたの内におられるならば、体は罪によって死んでいても、霊は義によって命となっています。もし、イエスを死者の中から復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリストを死者の中から復活させた方は、あなたがたの内に宿っているその霊によって、あなたがたの死ぬはずの体をも生かしてください。

(ローマの信徒への手紙 8:1～1)

○私たちは洗礼を受け、キリストに結ばれた(キリストの中に入れられた)者となる。そこから、私たちはキリストにある新しい命を生き始める。それは、もう罪とは無縁の聖人君子のような生を生きることではない。

○信仰者になることによって、むしろ私たちはより深く自らの罪に気づかされる。しかし、そこに同時に恵みとして与えられているのは、キリストを通して自らを見つめる視点である。父なる神が、御子キリストによって成し遂げてくださった救いの御業のゆえに、「もはやこの私が、罪に定められることはない」という告白へと導かれる。聖霊のお働きによってそのように新しく生かされるのだ。

【塩崎 悟史牧師(水島教会)～岡山教会12月31日礼拝説教要旨】

塩崎先生は、大晦日に礼拝説教に来てくださいました。この日の礼拝は水島教会へオンライン配信。建築中の新会堂は5月完成とのこと。共に祈りましょう。



2023クリスマス！！

新型コロナ感染症が5類に移行してはじめてのクリスマス。12月24日(日)礼拝は、K. Y. 兄の司会、A 姉の奏楽、そして賛美リーダーのA. M. 姉によって進行され、永松清師より、「栄光、神にあれ！」(ルカ2:8~20)と題したクリスマス・メッセージを頂きました。
 献金感謝の青木恵美子師のお祈りに心を合わせ、幸いな礼拝のひとつでした。
 新来会者2名はじめ久しぶりの方々そして子供たち6名含め36名の出席でした。



賛美をリードして下さった M 姉 ハニーティーの素敵なハーモニー クリスタルコール部の美しいコーラス 今年はトナカイさんの通訳付き
 礼拝後はお楽しみの「祝会」です。

蝶ネクタイ姿のY兄の開会祈禱に続いて、スクリーンにはドイツ・ベルリン在住のFご一家から動画メッセージ。
 Fご夫妻とお子さんたちの元気な挨拶。近況報告に続いてYさんのバイオリン独奏では、昨年クリスマスからの成長に感心させられました。
 昨年に続いての音楽ユニット・ハニーティーが4曲披露、岡山理大クリスタルコール6人には6曲の本格的なハーモニーを演奏していただきました。
 全員参加型朗読劇は2019年以来の再開。絵本「戦争をやめた人々」の一部をスクリーンに映し、現代も戦禍の絶えない世界に思いを致すひとときでした。
 最後はサンタクロース登場。今年はインドネシアからジェフリーさんが、トナカイ役の Y 姉と共に現われてプレゼント。
 子どもたち、クリスタルコールの皆さん、80歳以上の兄姉が一人一人名前を呼ばれて受取り、笑顔いっぱい。☺
 永松師の閉会の祈りをもって、60分の祝会が閉幕しました。
 38名の記念写真の後、集会室でイチゴショートケーキを皆さんにいただき、文字通り、クリスマスの喜びをかみしめることができました。



2023 キャンドルサービス

今年は12月23日(土) 19:30からキャンドルサービス(燭火礼拝)が行われました。参加者は5名、と少し寂しい燭火礼拝となりましたが、永松師がヨハネ1:1-5から「闇に輝く光」と題してイエス様の誕生の意味を御言葉を通して語っていただきました。
 来年のクリスマスには多くの方が集われますよう祈ります。



(右 説教中の永松師)

証し K.E.姉



神戸に住む妹が、知人に我が家の新米をあげたら「こんな米食べたことがない程おいしかった。」と言われ、私はとても元気になりました。昨年は風が無かったり水が切れていたり、JAの指導効果は全く無く、挙句のはては草まみれになりました。その辛い経験を生かすため、今年こそはと稲作りには特別の思いがありました。お陰様で一等米で増収でした。
 私は赤磐市の農家で育ち、小学校から高校まで農家の出身が多く、農業をすることに對して抵抗はありませんでした。
 従弟に農機具のイロハを教えてもらって、トラクターの講習も寒風吹きすさぶ中、何時間も教えてもらい、そのうち機械に慣れていきました。(左写真スライド)
 高温多雨、台風の襲来で稲は倒れ、手で刈るようなことも。
 アライグマの食害はじめ、病害虫、中国大陸よりウンカ襲来、カメムシ、バッタは容赦なく、農薬を投与しても迫って来た。



頼りになる従弟は5年前突然亡くなったが、今では親しく話せる同志が出来て大きな財産になっている。

これまで健康で事故も無く労働できたのは、神の加護以外には考えられない。必ず神が励まし導いて下さった。

1 テモテ6:17

『わたしたちにすべてのものを豊かに与えて楽しませて下さる神に望みを置くように。』

詩篇65:9

『あなたは地を訪れ、水を注ぎ、これを大いに豊かにされます。神の川は水で満ちています。あなたは、こうして地を整え人々の穀物を備えてくださいます。』

必ず豊かに実を結ぶことが出来る。それを確信します。私はまだまだ未熟者ですが、神を見上げ歩んで行きたいと思ひます。